

2023年11月9日  
横浜ケーブルビジョン株式会社

第43回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2023年11月9日(木) 10:00～12:10

開催場所 YCV 本社 会議室

番組審議委員 全7名：出席7名／欠席0名

渡邊 敏生会長

太田 由紀枝委員 河内 宗次郎委員 小磯 守委員

篠崎 顕一委員 瀬沼 幹太委員 渡邊 晶委員

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長

京 克樹

取締役副社長兼コンテンツ部長

増田 成寿

コンテンツ部制作マネージャー

栗田 浩輔

コンテンツ部編成マネージャー

田光 あずみ(事務局)

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

## 【委員の皆様からのご意見】

- 「結ばれる街とまち」については、タイトルも良く、東急線の駅数や直通乗り入れについて等大変勉強になった。また、図面が1度しか出なかったので勿体なかった。図面を活かして各町の撮影と結びつけるなどの工夫があったら面白いと思った。
  - 番組に各区の区長が多く出演していた。出演の少ない区もこれからの出演に期待している。
  - 「GREEN×EXPO 2027 横浜でやります」の画面の作り方が良かったと思う。
  - 「地域情報便 じもっと!!」を見ていて、モダンな町名があることに驚いた。
  - YCVで「えかたり〜べ紙芝居」の番組を放送したことで、イベント等で「えかたり〜べ紙芝居の“生”が来た」と声を掛けられることが多くあり、とても嬉しく思っている。
  - 1人中継は、臨場感があり大変良い取り組みだが、ディレクターのみで中継のすべてを担うのは非常に大変なことだと思う。いい番組なので、頑張って続けてほしい。
- 
- 「結ばれる街とまち」を見て、YCVの地域がまた一段と広くつながりができ、とても明るいニュースだと感じられた。
  - 番組では身近な情報や学校とのつながりが良い事だと思った。西区では、清掃活動やパトロール等に学生たちが参加することで、学校とのつながりができたことを嬉しく思っている。
  - YCVでの学校（生徒）とのつながりを映像で見ていると、明るい内容が入ってきて楽しませてもらっている。学校とのつながりをもっともっと推進していくと視聴者も喜ぶと思う。
  - これからのYCVの発展を楽しみにしている。
- 
- ここ最近の番組の幅の広がり方が非常に面白いと感じている。
  - 地域と連携して学生主体で進める授業というのは、学生にとっても地域の方々にとっても非常に魅力的。テレビ局での体験も学生たちの将来につながるので、引き続きお願いしたい。
  - 子ども達のテレビ局体験は、自由研究のテーマにもなる。職業見学ができる施設は数多くあるが、実体験ができるということに驚いた。学生や子ども達と連携した活動は、他にもあると思うので一緒に考えていきたい。
  - 「卒園おめでとう！」は、長く放送しているので、出演したお子さんは大きくなってきている。大きくなったお子さんが、保育士になってまた出演できたらというコメントを読んで、そういう風につながっていくのだとひしひしと感じている。また、保土ヶ谷には保育士を目指す地元の学生が入学する聖ヶ丘保育専門学校があり、卒業後は地元の幼稚園・保育園に就職することも多い。非常に地域に根差した学校もあるので、うまくつなげられるとよいと思う。
  - Instagramをいつも見ていて「いいね」しているが、なんだか寂しい気がする。せっかく学生達と連携しているので、協力してもらいInstagramの活性化につなげていけるとよいと思う。
  - 他局だが、直通運転が始まったことにより「西谷」を特集した番組を放送していた。相鉄線も注目され、相鉄線に乗りたいという方も増えるのではないかと思う。

- 「結ばれる街とまち」を見て、ものすごいトライをした大変面白い内容だった。イラスト等を使用した説明で内容が分かりやすく、映画のような感覚もあった。
  - SNS をフォローしているが、「いいね」が少ないと思う。若者たちにフォーカスする（主役にする）とフォロワーやいいねの数も増えていくと思う。
  - テレミンやエルヴィーの LINE スタンプも使用している。テレミンは認知度があるが、エルヴィーは認知度が低いと感じている。スタンプをきっかけに、コミュニケーションを取ることができるので声が出るスタンプなど第2弾の販売もあるとよい。
- 
- 警察と協定を結ぶことで、防犯カメラが活用できるのではないか。
  - 神奈川県は、今年交通死亡事故が多発しており、神奈川県警察からも緊急の注意喚起が出ている状況にある。旭区には 77 保育園があり、2500 人の 5 歳児（新一年生）がいる。旭区の鶴ヶ峰地区の 13 保育園 280 人の子ども達に対し、3 日間に渡り保育園の子ども達と一緒に交通安全教室を行っており、今年で 9 年目となる。来年は二俣川地区の保育園児にも拡大予定である。
  - 来年の花博関連のイベントは、3 月に 2 日間予定されている。
  - 旭区鶴ヶ峰は、今年の横浜市の住みよい街のベスト 10 に入っている。
  - 学校関係の取材について、小学 2 年生による大根の種まきから収穫までの撮影を行う予定だったが今年も叶わなかった。来年も実施するので、ぜひ取材をお願いしたい。
  - 12 月 7 日に「地域発信バラエティーのんびり行こう」のビリー諸川氏が旭警察の一日署長に就任するイベントが開催されるのでぜひ来場ください。
  - 直通線だけでなく、西谷～二俣川間の地下化する計画等も取り上げてもらいたい。
- 
- 2023 年の一番大きなトピックスは、相鉄・東急の直通運転。どのような苦労があったかなど、背景や裏側を沢山見ることができ勉強になった。
  - SNS の活用や大学連携など、以前の会議で自身が提案したことが実現していることを嬉しく思う。
  - Instagram の活性化については、若い方は動画制作が上手なので、地域の方に動画を撮影し、YCV の Instagram に投稿してもらい、抽選でプレゼントをするような企画を実施してはどうか。
  - LINE でのプッシュ通知の活用も検討いただきたい。
  - ゆめが丘の大規模商業施設については、期待を持っている。YCV が提案することにより、定番の大規模商業施設に新しい要素が入り面白くなると思う。また、YCV エリアではないが、慶應義塾大学(SFC) や日本大学等との連携も検討すると面白いと思う。
- 
- 小学生が現場で活躍し「じもっと」を作るという企画で、「一生の思い出になった」と話していたのが非常に印象的で、とても良い取り組みだと感じた。
  - 近隣の大学との連携は大賛成で、和田町商店街と横浜国立大学が連携して、商店街づくりに学生の意見を取り入れて大成功した。また、二俣川の商店街では、6 年間横浜市立大学との連携を行い大学生との意見交換を行っており、とても実りのあるものだった。学生達は考えつかないようなことを考える。とても斬新でいい取り組みだと思うので、横浜国立大学やフェリス女学院との連携を引き続きおこないい YCV チャンネルで放送して欲しい。

## 【京社長／横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

- ・当社エリア概要および加入状況報告
- ・売上高および利益推移報告
- ・会社組織について

### <新サービスの導入について>

- ・2023年6月 防犯カメラサービス(集合住宅向け)開始
- ・2023年11月 “オンデマンド と リニアチャンネルのハイブリッド型サービス”を開始

### <地域との取り組みについて>

- ・2023年10月 「YCV テレミン商店街」ネーミングライツ契約更新
- ・「ゆめが丘ソラトス(大規模集客施設)」との連携提案  
⇒情報発信(YCVチャンネルの活用、インフラ設備の提供/活用について提案実施)
- ・横浜国立大学と連携したプロモーションビデオ制作(教員向け指導用)

## 【増田副社長／挨拶】

大学生や子ども達との連携等、委員の皆様からは相対的に良い評価をいただくことができたと感じている。大学生と一緒に取り組む番組企画では、試験や夏休み等スケジュール調整に苦慮しているところもあるが、大学生達に主体的に企画を立ててもらい、しっかりと時間をかけて、コミュニケーションを取りながら進めていきたいと考えている。

また、幼稚園・保育園から小学校・中学校など、幅広い世代の子ども達とも接点を持たせていただいている。将来、子ども達から「一生の思い出になった」と言ってもらえるような新たな企画を体験させてあげることができたら非常に良いと思っている。

長く続けていく中で、変わらずに大事にしていくことと、また新しくチャレンジをしていくことがありSNSについては更にしっかりと取り組まなければならないと実感している。

こういった新しいチャレンジをしつつ、大事にしていくものは大事にしていくということで取り組んでいきたい。本日頂戴したご意見については、今後に反映させていきたい。